CSR重要課題のマネジメント手法（GRIスタンダード3対応）

タムロンでは中長期的に社会課題解決に取り組み、持続的に成長するために、リスクと機会を抽出し、
マテリアルな項目として「CSR重要課題」を特定しています。
CSR重要課題の特定方法については、「統合報告書2024」P.35をご覧下さい。

GRI対応	GRI3-1			GRI3-2	GRI3-3	
CSR重要課題	**マテリアルな理由**	**マテリアルな範囲**	**インパクト関与 直接的 or 間接的**	**マネジメント手法**	**マネジメント手法の評価**	**関連情報**
製品品質・ 安全管理の強化	製造業として、ユーザーが安全に快適に使用できる製品を製造することは当社の責務であるため	タムロングループ	直接的	統合マネジメントシステム	QPICS委員会、外部監査、CSR委員会（マネジメントレビュー含む）にて実施	「統合報告書2024」P35.～36
持続可能なサプライチェーン構築	当社の調達活動は日本のみならず中国・ベトナムの生産拠点に近い地域でも行っており、各地域の課題に配慮した活動が求められているため	本社・青森工場・中国仏山工場・ベトナム工場とサプライチェーン	直接的	統合マネジメントシステム	SAQや社内相互チェックによる確認、外部監査、CSR委員会（マネジメントレビュー含む）にて実施	「統合報告書2024」P35.～36
事業による社会課題の貢献	中長期的な社会の持続可能性と当社の持続的発展のため	主に本社（事業本部、R＆D技術センター 研究開発部など）	直接的	統合マネジメントシステム	外部監査、CSR委員会（マネジメントレビュー含む）にて実施	「統合報告書2024」P35.～36
CO2削減	2030年までのCO2削減を牽引するパリ協定の発効もあり、企業はCO2削減・緩和・適応が求められるため	タムロングループ（主に生産拠点）	直接的	統合マネジメントシステム	外部監査、CSR委員会（マネジメントレビュー含む）にて実施	「統合報告書2024」P35.～36
資源循環の実現・廃棄物の削減	資源の枯渇、廃棄物処分場の不足などのため	タムロングループ（主に生産拠点）	直接的	統合マネジメントシステム	外部監査、CSR委員会（マネジメントレビュー含む）にて実施	「統合報告書2024」P35.～36
環境配慮設計	資源循環の実現・廃棄物の削減・CO2削減・有害化学物質の削減のため、製品の設計段階から配慮方法を検討し、実行する必要があるため	本社、中国仏山工場（主に事業部設計部門）	直接的	統合マネジメントシステム	デザインレビュー会議、外部監査、CSR委員会（マネジメントレビュー含む）にて実施	「統合報告書2024」P35.～36
有害化学物質の削減	安全に安心して製品をご使用頂くため、またお客様と社員の健康のため	タムロングループ（主に事業部設計部門）	直接的	統合マネジメントシステム	デザインレビュー会議、外部監査、CSR委員会（マネジメントレビュー含む）にて実施	「統合報告書2024」P35.～36
水の管理	レンズの研磨・洗浄工程にて水を使用しているため	タムロングループ（主に生産拠点）	直接的	統合マネジメントシステム	外部監査、CSR委員会（マネジメントレビュー含む）にて実施	「統合報告書2024」P35.～36
人材育成	当社の持続的成長のため、社員が効率よく企業価値向上に向けた活動を行う必要があるため	タムロングループ	直接的	統合マネジメントシステム	外部監査、CSR委員会（マネジメントレビュー含む）にて実施	「統合報告書2024」P35.～36
DE&Iの推進	当社の持続的成長のため、社員が活き活きと働く職場環境の整備と、多様な価値観とスキルを持ち合わせた人財の活躍が望まれるため	タムロングループ	直接的	統合マネジメントシステム	労働安全衛生委員会、外部監査、CSR委員会（マネジメントレビュー含む）にて実施	「統合報告書2024」P35.～36
人権の尊重	「タムロン人権方針」に基づき、自社及びサプライヤーにおける人権への負の影響を特定、防止・軽減する一連のプロセスである人権デューディリジェンスを実施するため	タムロングループ	直接的	統合マネジメントシステム	外部監査、CSR委員会（マネジメントレビュー含む）にて実施	「統合報告書2024」P35.～36
健康経営の推進	社員が心身ともに健康でやりがいをもって働くことこそが、企業価値の向上に直結する最重要事項の一つであると考えているため	タムロングループ	直接的	統合マネジメントシステム	外部監査、CSR委員会（マネジメントレビュー含む）にて実施	「統合報告書2024」P35.～36
コンプライアンスの徹底	コンプライアンスの徹底のため	タムロングループ	直接的	内部統制システム、統合マネジメントシステム	コンプライアンス委員会、内部統制システム、内部監査にて実施	「統合報告書2024」P35.～36
BCMの強化	近年災害が多発しており、災害時に社員の安全、迅速な再稼働のため、備えを構築する必要があるため	タムロングループ	直接的	統合マネジメントシステム	リスクマネジメント委員会、外部監査、CSR委員会（マネジメントレビュー）にて実施	「統合報告書2024」P35.～36
情報セキュリティの強化	情報資産を事故・災害・犯罪などの脅威から守り、お客様ならびに社会の信頼に応えるため	タムロングループ	直接的	統合マネジメントシステム	情報マネジメント委員会、外部監査、CSR委員会（マネジメントレビュー）にて実施	「統合報告書2024」P35.～36
ガバナンス体制の改善	中長期での企業価値創造に向けた迅速な意思決定と、監督機能の強化のため	タムロングループ	直接的	統合マネジメントシステム	ガバナンス検討委員会、コンプライアンス委員会、外部監査、CSR委員会（マネジメントレビュー）にて実施	「統合報告書2024」P35.～36
情報の開示	当社の活動に対する透明性を高めるため	タムロングループ	直接的	統合マネジメントシステム	取締役会、外部監査、CSR委員会（マネジメントレビュー）にて実施	統合報告書、ESGデータブック